





## ★ 男と女 ★

岩月 賢一

男は英語で man で、ラテン語の mens(心)、さらには印欧語の men-(考える)に由来する。かつてパスカルは「人間は考える葦である(L'homme est un roseau pensant)」と言った。ロダンが彫刻「考える人」を作った。この彫刻を男としたロダンの意図は知る由もないが、女がああ恰好では、さまにならないのではなからうか。ただし私は、考えるのは男であるなどと言うつもりは毛頭ない。

man は一方では広く人間をも意味する。Man is mortal. と言っても、死ぬのは男だけではない。しかし、男が人間全体を代表するという発想は、女性軽視に根ざすとして、昨今では世の女性の弾劾を浴びることであろう。

女の woman は昔は wifman といわれ、wife と同じ語源である。wife は midwife(助産婦) など一部を除き、今日ではもっぱら“妻”の意味で使われているが、ドイツ語の Weib は今日でも“女”を指す。いずれも印欧語の weip(おおう)から出た語で、元来は“おおわれたもの”の意だそうだ。(渡辺昇一<sup>2)</sup>)。

現在でもイスラム教徒の女性は、頭から顔を黒い布でおおっているし、キリスト教徒の女性は、日曜日のミサには頭に白い布をかぶっている。我が国でも結婚式のときには、新婦は緋帽子や角隠して頭をおおう習わしがある。洋の東西を問わず、古来女性に対しては共通の意識があったことがうかがわれるが、その背景にあったのは、仏教でいうところの“女人五障”の考えに近いものかも知れない。

男は male, 女は female ともいう。male はラテン語の musculus (mās男の指小形) から、female は fēmella(femia女の指小形) からきた語で、maculine, feminie はその形容詞である。

ところで、英語の挨拶は通常 Ladies and gentlemen で始まる。この gentleman は“種”を意味するラテン語の genus(ギリシャ語 genos)との関連があり、印欧語の gen-(生む)を語源とする。

gentle という語は、今日一般には“やさしい、温和な”の意味で使われているが、本来は“家系のはっきりした、育ちの良い”の意味であって、gentleman は“育ちの良い男”を指した。

gene(遺伝子)、genetics(遺伝子学)、generation(世代)などは同族語である。eugenics は eu-(よい)+ genesis(生まれること)から“優生学”を指す。

一方、lady は Webster の New World Dictionary

によると、古代英語では hlaedige といい、“パン粉をこねる者”を意味したとのことであるが、世の淑女にとっては定めし心外であろう。

ドイツ語では男と女は Herren und Damen という。ある人がドイツでトイレに行ったところ、入口に“ヘレン”と書いてあったので、別のトイレに行ったら“ダーム”とあり困ったというのは、作られた笑い話であろう。

話はそれるが、女性に関係の深い Hysteria(ヒステリー)は、ギリシャ語の hystera(子宮) からきた語であるが、必ずしも子宮とは関係はなく、ときには男性にも見られるので、この名称は女性にとっては濡れ衣といつところであろう。こんにちアメリカでは conversion syndrome といわれ、中国では“臆躁”とも“奔豚”ともいわれたそうだ(小川鼎三<sup>2)</sup>)。さすが文字の国である。

子宮は英語で womb という。woman は womb man からきたとの説や、女性は男性の悩(woe)の種であることから、woe to man を語源とするとの説は、一見なるほどと思われるふしもあるが、学問的には根拠のない民間語源説とされている(渡部昇一<sup>2)</sup>)。子供を産むのにウーマンとはこれいかになると、落語的駄じゃれである。

男女を含めて人類は、学名では Homo sapiens といひ、18世紀の半ばごろリンネが命名した。homo はラテン語で“人”、sapiens は“分別のある、賢明な”の意である。なお human は homo と同じ語源で、ラテン語の humus(土、大地)から出た語である。

旧約聖書の創世記<sup>4)</sup>を見ると、「主なる神は土のちりから人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった」と書かれている。homo, human が humus(土)を語源とするゆえんである。その最初の人か Adam であるが、これはヘブライ語の adama(土) からきた語であり、Adam の肋骨の一本から取って造られた最初の女 Eve は、ヘブライ語の eva(いのち)である。

ところで、人類の歴史は国家民族の興亡の歴史であり、戦いの繰り返しといっても過言ではない。過般のベルシャ湾岸戦争では、一日に数億ドルもの金が人を殺し物を壊すのに使われたのをみると、homo stultus(stultus, 愚かな)といわれても仕方があるまい。われわれ現生人類は正確には homo sapiens sapiens というのだそうだが、sapiens の語をいくつ並べてみても、それだけでは sapiens にはなれない。





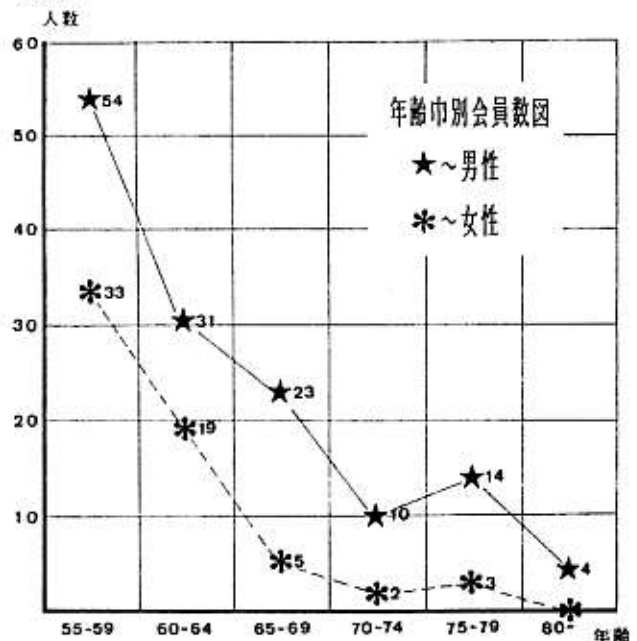
# ※ 新生 東北マスターズテニス大会 ※

「東北シルバーテニス交流大会」の名称で皆様に親しんでいただいていた東北6県のシルバーテニス交流大会は、昨年に福島県で開催された大会が6回目にあたりました。丁度東北の各県を一巡し終えたのを機会に名称および内容を新たにして再出発することとなりました。開催種目は女子55歳以上、60歳以上、65歳以上、男子60歳以上、65歳以上、70歳以上のダブルス6種目となり、全種目ともに個人戦で団体戦はなくなります。出場数枠も各県各種目3組以内となりました。女子の高齢者に対する配慮がなされ、出場出来る人数を増し、より多くの方々に参加していただくことが出来るようになりました。他県のテニスプレイヤーとの親睦を深める交流をなるべく「テニスコート」の中で出来るよう試合数を増やし、プレー中心の企画となる予定です。個人負担を軽くする意味もあって、懇親会は省略することになりました。

今年は、当連盟が主管となり会場を天童市の山形県営テニスコートを会場として10月7日、8日の両日開催の予定です。折角、東北各地より二百有余の選手が一同に会していただくのですから、「雨天でテニスは出来ません」という事態が生じないように室内コートを確認いたしております。主管県と開催地が異なる変則開催となりますが、山形県テニス関係者の方々のご協力により、雨天対策の為の止むを得ない方法となりました。宮城県にもこのような大会が開催出来る公営の室内コートの早期建設が望まれるところです。宮城県からの出場選手は別項に掲載されております「宮城県テニスマスターズ春季大会」の成績を参考資料として選抜される予定です。なお、懇親会が開催さ

れませんので、宮城県選手は自宅からの「通勤」参加も可能となります。マスターズ春季大会に出場して、代表選手の資格を取って下さい。

次の図は当連盟の55歳以上の会員年齢別構成を示しています。ねんりんピック選手有資格者は男性会員82人、女性会員29人となっております。東北マスターズテニス大会では女子ダブルス種目に55歳以上の部が開催されます。また、日本シニアテニス連盟の開催種目には女子50歳以上の部もあります。さらに、会報の中でもご案内しておりますように、今年から新設される日本テニス協会主催の全日本グランドシニアテニス大会では男子70歳以上、女子65歳以上という高齢者を対象とした全国規模の大会が数多く企画されつつあります。日頃、連盟企画の諸行事で鍛えた腕前をこれらの大会で発揮されますことを期待申し上げます。



※※

## ■■■新入会・退会者紹介■■■

1月1日以降に入退会された会員の方々をご紹介します。4月1日現在で会員総数341名(女性会員154名、男性会員187名、家族69組)です。通信費の節減のため転勤、体調不良等で退会または休会される方はご面倒でもその旨事務局宛てご連絡下さい。お願いいたします。

月日	氏名	☎
01/01	門間 征夫	392-0540
	門間 京子	
01/10	藤井 正夫	
	多恵子	
01/14	浪岡 亮	394-2487
02/10	菅井 庸子	223-7671
02/20	前田 弘	225-3028
03/17	鈴木義昭	229-7164

## ☆「ポイントゲット」ダブルス大会の面白さ☆

月例会や室内ダブルス大会あるいはWEEKDAY交歓会では、いつもおなじパートナーと組んで一日中ゲームをしてしまったり、同じレベルの者たちだけで繰り返しゲームをしてしまったりしがちで、何か物足りないと感じている方々もおいでのです。この「マンネリ化」を防いで少しでも面白さが期待出来るようにと、委員会では「ハンディキャップ」ダブルスを考案し、「ポイントゲット」と名付けて今年の室内ダブルス大会に適用してみました。「ハンディキャップ」という言葉は「技量の差」と直結しそうですが、当連盟採用のハンディキャップは技量、年齢、性別の三大要素を加味して定めようとするものです。試行錯誤の段階ですが、技量をA、B、C、D、E、F、Gの7段階に年齢を40～44、45～49、50～55、・・・のように5歳刻みとし、次表のようなハンディキャップとしてみました。

技量HDC							
A	B	C	D	E	F	G	
0	1	2	3	4	5	6	
年齢HDC							
40～	45～	50～	55～	60～	70～	75～	80～
1	2	3	4	5	6	7	8
性別HDC							
女性				男性			
3				0			

上のハンディキャップ表から、Eクラスの女性で53歳の場合には(4+3+3=10)、Bクラス45歳の男性の場合には(1+2+0=3)となります。技量のクラス分けは今までの当連盟主催の各種大会における活躍振りや県選手権大会等の公式戦の成績などを加味して委員会で決めさせていただきます。さて、個人のハンディキャップ(HDC)が決まったところで、「ポイントゲット」ダブルス試合の得点獲得方法の説明をいたしましょう。

試合における獲得点の計算は次に示される計算式を用います。

(自分達のHDCの合計)

獲得点=  $\frac{\text{自分達のHDCの合計}}{\text{相手組のHDCの合計}}$  × (獲得ゲーム数+1.0)

(相手組のHDCの合計)

例えば

Aさん(HDC5) Bさん(HDC12)組とCさん(HDC7) Dさん(HDC14)組とが試合をして、7/6でA B組の勝ちとしましょう。この試合でA、Bさんの獲得点は

$$[(5+12)/(7+14)] \times (6+1) = [17/21] \times 7 = 5.67$$

C、Dさんの獲得点は

$$[(7+14)/(5+12)] \times (4+1) = [21/17] \times 5 = 6.17$$

となり、試合では負けたC、D組の獲得点が大きくなります。この組み合わせでA、B組がC、D組よりも

高得点になるためには

$$(6+1) \times (5+12) / (7+14)$$

$$> (X+1) \times (7+14) / (5+12)$$

という簡単な計算より、 $X < 3.58$  即ち6-3、6-2、6-1、あるいは6-0で勝たなくてはなりません。テニス競技は技量のある方の勝つ確率が非常に高いスポーツと言われております。ダブルスの試合においても皆さんのご経験にあるように、相手の組と自分の組のペアを見比べて、試合をする前にスコアは別としておおよその勝ち負けが予測されてしまいます。「勝って当たり前、負けて当たり前」ではテニスの面白さが半減してしまうとおっしゃる方もおいでのです。本方法では勝敗の面白さとゲーム中の「努力」が報われる面白さとが同時に味わえることとなります。さらに、この方法では、性別、技量、年齢に関係なく誰と組んで試合をしも、また、対戦相手がどのような組でも獲得点数が「頑張り」に応じて増減することとなりますので、決められたペアで一日中試合をしないで多数の人とのペアリングでダブルスを楽しむことにもなります。

今年の1月と3月にの2回にわたり開催いたしました室内ダブルスを楽しむ会では参加者からご好評を頂戴しました。ちなみに高得点を獲得された方は技量的には中以下、年齢は高い方、女性か過半数という結果が出ております。

機会がありましたら再度「ハンディキャップ」戦を開催したく考えております。会員諸氏におかれましては楽しくテニスの会が出来る方法がありましたらご提案くださるようお願いいたします。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

## ★ 対いわきVTC親善試合 ★

恒例の対いわきVTCとの親善試合は今年度いわき側の主管で開催される予定です。今年度のスケジュールの概要がいわきから通知されてきましたのでお知らせいたします。

期日 9月6日(土) 午後練習 宿泊

7日(日) 親善試合 夕刻帰県

宿泊 土湯温泉 観山荘

会場 福島市営森合テニスコート(砂入人工芝)

費用等詳細につきましては判明次第お知らせいたします。吾妻山麓に抱かれた土湯の温泉に浸るながらのテニス談義もまた一興と思われれます。親善試合ながら、対戦成績は毎年いわき側の圧勝に終わっております。今年こそは当連盟の力を結集して、成績は勿論のこと参加人数でも圧勝しようではありませんか。会員諸氏の年間スケジュールの中に加えておいて下さい。

平成9年度宮城県宮城県壮年テニス連盟年間行事

Table with 2 main sections: '宮城県壮年テニス連盟関連' and '宮城県、東北等テニス協会関連'. Each section has columns for '月日' (Month/Day), '行事名' (Event Name), and '会場' (Venue). The table lists various tennis events such as 'WEEKDAY交歓会', '年齢別ダブルス大会', and '混合ダブルス大会' across different dates and venues like '宮', '泉', '宮青', '福島', etc.

会場：宮=宮城野原庭球場 青=青葉山公園庭球場 泉=泉総合運動場

「近頃一寸気になる話題」

「ねえあなた、ちょっと聞いてよ。私、前から気になっていたことだけど、昨日、泉の市営コートで友達とテニスしたのよね。土曜の午後のせいもあって、2時間しかコート借りられなかったの。午後1時から予約なので1時5分くらい前に受付フロントに行ったのよね。そうしたら係りの人が『前に借りた人がセンターストラップとネットハンドルを返しにくるまで待っていてください。』と言うのよね。わたし『同じコート使うんだから、ネットそのままでもいいわよ』といったら『規則ですから』だって。結局、私達が渡してもらったストラップを取付け、ネットを張ってボールを打ち始めたのは定刻1時を10分も過ぎてたわ。」

「ブラッシングの意味は解ったわ。でも、あのコート、砂が全然無くてブラッシングしてもしなくても同じ感じだったわ。ブラッシングのためのブラッシングって意味ないわよ。」

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

■■■ JTA NEWS が面白い? ■■■

会員の皆さんのなかには日本テニス協会がクォータリ形式で発行している JTA NEWS を関連のテニスクラブ等で御覧になった方もおいででしょう。日本のテニス界の情報は勿論のこと世界のビッグイベントの紹介やこの号で一部を引用させていただいた医科学担当委員会の記事やベテラン委員会の記事も多く掲載されています。最新号No.49では皆さんがよく御存じのいわきVTCの球友諸氏がねんりんどっ'96で大活躍、堂々第3位の栄冠を手にし、いわき民報にも報道されたという誠に嬉しい記事がありました。また、わか連盟の伊藤一利委員長による「筆舌に尽くしがたい遺跡の美しさ」と題する昨年『北京国際パワテニス大会』参加の感想文がご本人の顔写真および当地の美しい写真入りで掲載されています。ご希望があれば関係記事の北へを差し上げます。事務局までお申し出下さい。パワテニス連盟の記事については今後も会報にてご紹介する予定です。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
※編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会※
※事務局 ※
※ ※
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※